

THE WORLD OF SARAH BERNHARDT

パリ世紀末 ベル・エポックに咲いた華

サラ・ベルナルの世界

京都特別展

2018

11

17

SAT

12

1

SAT

開館時間 午前10時〜午後5時 *入館は午後4時30分まで
休館日 日曜・祝日
料 金 一般:200円、大学生:150円、高校生以下無料

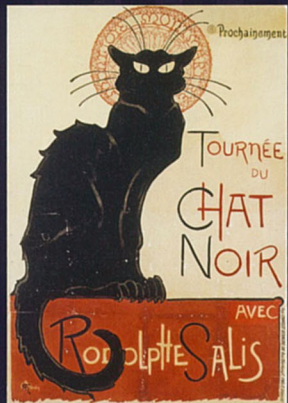


世界的女優、ラリックを見出した
ミュンシャ、ラリックを見出した
世界的女優、日本初の回顧展。

ウシュエヌサミエルクワッセ(ジャンヌダルク) 1894年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵

【主催】「サラ・ベルナルの世界展」実行委員会 【後援】在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本/京都府/京都市 【協賛】株式会社バーバル/株式会社渋谷文泉閣 他43社 【特別協力】【フランス】エタンブ市美術館、ピエール=アンドレ・エレヌ/ダニエル・ラドゥイユ 【日本】箱根ラリック美術館/京都工芸繊維大学 美術工芸資料館/リボリアンティークス 【監修/企画/構成】ピエール=アンドレ・エレヌ(マキシム美術館学芸部長/美術史家)、岡部昌幸(帝京大学文学部史学科教授、群馬県立近代美術館館長) 【運営協力】「サラ・ベルナルの世界展」実行委員会 【企画協力】株式会社燦京堂

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES



ミュシャ、ラリックを見出し、才能を開花させた美のパトロン。

19世紀末パリ、ベル・エポックを生きた大女優サラ・ベルナル。彼女は、新芸術様式“アール・ヌーヴォー”が輝き始めた頃、演劇・芸術・ファッションで人々を魅了し、広く名声を博しました。

また、当時ポスター画家として無名だったミュシャに劇場ポスターの制作を依頼。そのポスターはたちまち人気となり、ミュシャはアール・ヌーヴォーの代表的な芸術家となりました。そこにデザインされた、いわば“ミュシャ・スタイル”は、演劇世界だけでなく、消費社会の到来にあわせて、商品広告にも応用されていきました。

20世紀になると女優としての活躍だけでなく、イギリスやアメリカ、世界各地で興業を主催し、国際的な大女優となります。さらに、自ら執筆や彫刻の制作を行うアーティストの一面もあり、多彩な才能を発揮していきます。

本展は大女優サラ・ベルナルを様々な側面から紹介する日本初の展覧会です。彼女の芸術表現ともいえる「舞台」（衣裳・装身具など）を中心に、ミュシャ、ラリックなどアール・ヌーヴォー、アール・デコの作家として有名な数多くの著名作家の作品を一堂に集め、「ベル・エポック（美しき時代）」の世界を紹介いたします。

1. アルフォンス・ミュシャ《メディア》1898年 リポリアンティークス蔵 2. テオフィール＝アレクサンドル・スタンラン《シャ・ノワール》1896年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 3. ティファニー《銀器セット 水差し》個人蔵 4. オーギュスト・レーデル《ムーラン・ルージュ 夜会・流浪の芸術家》1897年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 5. ルネ・ラリック《花器 スカラベ》1923年 箱根ラリック美術館蔵 6. ボワイエ《『テオドラ』でのサラベルナル》1884年 ダニエル・ラデュエユ・コレクション

- 会期 2018年11月17日|土|—12月1日|土|
- 休館日 日曜・祝日
- 開館時間 10:00～17:00 *入館は16:30まで
- 料金 一般:200円、大学生:150円、高校生以下無料

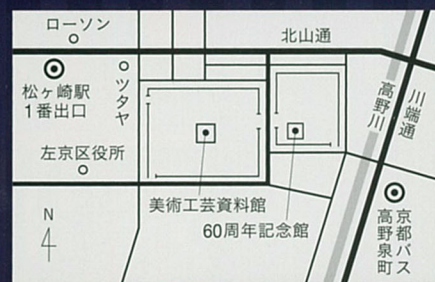
*京都・大学ミュージアム連携所属の学生・院生は学生証の提示により無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳を持参の方及び付添の方1名は無料（入館時、手帳を提示）

■アクセス [電車] 市営地下鉄「松ヶ崎」駅下車1番出口から右(東)へ約400m、四つ目の信号を右(南)へ約180m進む。

[バス] 京都バス高野泉町駅下車、馬橋を渡り左へ約200m進む。

*利用いただける専用駐車場がございません。近隣の有料駐車場施設のご利用をお願いいたします。



京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
Tel. 075-724-7924
Fax. 075-724-7920
http://www.museum.kit.ac.jp



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto